

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

会長挨拶

後援会会長 齋田浩三



めっきり秋めいてまいりました。今日この頃ですが、後援会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて去る四月五日の東京聖栄大学入学式終了後に開催されました、平成二十年度東京聖栄大学後援会総会におきまして、会長を仰せつかりました齋田浩三です。

これから一年間後援会会員の皆様にご指導ご鞭撻を賜りながら大任を全うしていく所存でありますので、宜しくお願ひします。

さて、東京聖栄大学後援会として四年目となりました。後援

会も本年より全学年の父母（保護者）の皆様にご加入していただき有り難う御座います。後援会としましては、多くの学生が学業に専念できる教育環境と教職員の研究助成を図るべく支援活動、大学と共催の保護者会、会報の発行を行っております。

東京聖栄大学も開学四年目となり、第一回生は来年の卒業を向え、就職活動、管理栄養士資格取得への試験勉強に忙しい時期だと思えます。後援会としても学生の更なる支援活動を行ってまいります。

最後になりますが、東京聖栄大学の益々の発展と後援会の皆様のご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

◆平成二十年度保護者会(予告)

今年度も後援会・大学共催に



昨年度の保護者会（平成19年9月）

よる保護者会を、十月四日（土）に開催することといたしました。

保護者の皆様におかれましては、是非ご出席いただき本学の教育についてのご理解を一層深めていただければと思っております。

日程については、十一時より

◆総会・役員会報告

役員会報告

二月二十三日（土）四役会、三月二十二日（土）に役員会全体会が夫々開催された。

まず、平成十九年度事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、慎重審議の結果、同報告は承認された。

引続き、平成二十年度事業計画案、同予算案を審議、夫々承認された。

さらに進級する一部の役員の方の二十年度留任が決定。

総会

四月五日の大学入学式当日、本学わたなべ記念館に於いて、ご父母（保護者）多数の出席を得て総会が開催された。

初めに、昨年度の事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、異議なく承認された。引続き、本年度事業計画案、同予算案が承認された。次に役員改選が行なわれ、選任・委嘱された新役員の方々のご紹介の後、新会長には齋田浩三氏が再任され、満場一致で平成二十年度役員が承認された。

平成20年度後援会役員紹介

会長	4NB	齋田浩三	三昌博	夫利一	繁一	隆一	文勇三	志弘	敏代	洋子	視明	美則	仁	誠	信美	江充	美略									
副会長	4NA	田口嶋	浩靖	和実	晃善	弘隆	正充	義弘	(敦)	(栄)	千政	正重	好	ひろ	み	誠	信美	江充	美略							
副会長	3FA	大松永	藤田	木村	藤藤	口井	田野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木					
副会長	2FB	安橋高	川齊	佐江	金吉	青山	福	田	部	井	藤	村	瀬	藤	村	邊	井	原	口							
副会長	4NB	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	2NA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	1NB	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	4NA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	4FA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	1FA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	4NA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	4NA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	4NA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	4NB	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	4FA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	3NA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	3NB	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	2NA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	2NA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	2NB	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	1NA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	1NB	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	1NB	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	1NB	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	1FA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	1FA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	1FA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木
副会長	1FA	高川	藤	田	木	村	藤	藤	口	井	田	野	崎	田	福	谷	糸	加	藤	柳	齊	中	伴	渡	金	木

管理栄養学科

管理栄養学科の現状

管理栄養学科長 阿左美章治



管理栄養学科 臨地実習

即戦力として活躍できる管理栄養士の養成を目的に平成十七年度に開設した管理栄養学科は今年度完成年度を迎えた。実践能力を備え、かつ管理栄養士国家試験に合格できる学生の育成を行ってきた。この間、最大のポイントは学生に「管理栄養士の何たるか」と普段の勉強との関連性、重要性ひいてはこれが国家試験合格に直結することへの理解とそれを維持させることにある。

新入生には入学時にオリエンテーションと化学の基礎力向上講座で対応し、一、二年次には専門基礎教科の理解を高めることに力を置いている。以降、三、四年次では臨地実習による実践活動を経験し、管理栄養士

国家試験対策、就職活動等に取組んでいる。

四年次生の管理栄養士職への希望は強く、七月末までに多くの学生が内定を得ている。このこととあわせて四年次生が来年三月の管理栄養士国家試験の合格を確かなものとするため、前期には国試対策「特論」や模擬試験を実施し、後期には「特論」はもとより学内・学外模擬試験、直前対策講座等を実施し、学生諸君のより一層努力はもちらんのこと合格のためのサポート体制の充実に全力を尽くしている。

食品学科

食品学科の現状

食品学科長 筒井 知己

食品学科の学生は、カリキュラムの中で、食品と安全、食品の加工と調理、食品と産業、食品分析の技術の各分野の専門科目を履修し、食品についての知識、理論、機器分析技術、食品加工技術を深く身につけている。さらに学生は一年次のフィールド研修、二年次の海外研修、三年次のインターンシップで、食材が実際にどのような生産、



食品学科 フィールド研修 (そば打ち)

流通、加工されていくか、またその品質管理はどのようになっているかを体験・学習している。このような勉強をした学生の就職状況が良好で、さらに卒業後の社会での評価が高ければ指導する食品学科の教員としてはうれしいことである。

現四年次生は、製菓会社、製パン会社、惣菜・サンドウィッチ製造会社、食品問屋、食品輸入商社、クッキングスクール、ホテルなどの多様な企業への内定者が出ている。彼らが卒業後各分野で活躍してくれば、筆者らが期待していたような成果となる。

今後の食品学科としては、卒業生に対してのケアを検討していく。さらに、現行のカリキュラムを検討して、専門性をさらに高めるとともに、在学生がより就職へ適応しやすいように指導を工夫していきたいと考えている。

学生支援センター

マナー向上運動・

ECO推進運動

今年度も六月十二日、全学的に実施している『マナー向上運動』を新入生に理解・実践させるため、財団法人実務技能検定協会面接官の前田小百合氏を講師にお迎えし、マナー講座を開催した。上級生を含め、日々の学生生活においての実践が望まれる。

『ECO推進運動』は、昨年

から学友会が中心となり「聖栄葛飾祭」などで実施している。模擬店でエコパックを利用し、入場者に対しゴミの細かな分別回収を徹底してもらった。どのECO意識の向上が成された。今年度の「聖栄葛飾祭」では、昨年以上の活動が計画されており、運動を継続的に進めている。

就職状況

完成年度を迎えた事により、東京聖栄大学としてはじめての就職活動が開始した。近年の就職活動は、三年次十月のインターネット就職サイトのオープンにより本格開始している。本学学生も、学生支援センターによる一・二年次のキャリア支援、三年次からの就職活動支援を受け、早期に活動開始する学生が多かった。今年一月には、本学生初の就職内定の報告を得た。就職活動のピークは後期試験終了後から五月末までで、この期間に多くの学生が内定獲得した。その後、内定獲得は順調に進み、九月十日現在の就職内定率は約八五%である。

学科別では、管理栄養学科は複数企業から内定を得た学生が多く、どの企業に就職すべきかの相談が多い。食品学科は、研究技術、食品製造、調理、食品の営業販売など幅広く内定獲得している。

今後、学生支援センターでは、未内定者への個別対応や進学希望者への支援により全卒業生の進路確定に努めていく。



学友会によるゴミの分別回収

後援会の寄贈

就職関連使用の備品寄贈

学生支援センターでは、キャリア・就職支援での学生利用を目的としてセンター内にパソコンを設置している。その内二台は旧式のためインターネット利用時での不都合等があり、後援会では最新型のパソコン二台を新規購入し大学に寄贈した。第一期生が卒業年度を迎え、センター内でのパソコン利用は増加している。



また、キャリア・就職ガイダンスでパワーポイントの利用が増え、ビデオプロジェクトを大学（学生支援センター）に寄贈した。キャリア・就職ガイダンスは学生支援センターの他、（株）リクルート等の就職情報業者を招き開催しており、プロジェクトは有効に活用されている。

合気道部への畳の寄贈

合気道部主将

三年 井上 大輔

合気道部は新入生を迎え、部員数十三名となり体育館二階で稽古に励んでいます。この度、後援会より新しい畳を寄贈していただき、より練習環境が充実していただきましたこと、部員一同心からお礼申し上げます。

合気道部は、以前はプレハブの道場で稽古していましたが、厚生施設棟の建設に伴い体育館内に稽古の場を移すこととなりました。部員増加に伴い畳が少なく、大きな技の稽古等充分できませんでしたが、今ではかかり稽古などもできるようになりました。これからも、合気道部では部員一同稽古に励み、秋の演武会では皆様に私たちの技を見ていただきたいと思います。



学友会活動報告

学友会総会・新入生歓迎会

歓迎会

四月十六日、「学友会総会」が開催され、新役員の選出や新年度行事予定などが報告された。引き続き行われた「新入生歓迎会」では、（株）伊勢丹キャリアデザイン派遣・採用事業部の真能和彦氏による『キャリアアツプするための意識革新―実りある就職への第一歩―』と題する特別講演が行われ、社会で働く上で必要になる能力の話など学生の関心深い内容であった。



● 体育祭

五月三十日、本学第一グラウンド（船橋市）において、朝方の雨も回復し体育祭が開催された。完成年度のため、はじめて四年次生が参加する体育祭は、全学年が揃う全学行事となった。「聖栄バトルロワイヤル」など新種目の登場により、例年以上に歓声に沸く大会であった。



● 聖栄葛飾祭（大学祭）

今年の「聖栄葛飾祭」は、十一月七日（金）の前夜祭と八日（土）、九日（日）の本祭の日程で開催される。昨年に続き地元密着型の大学祭とする為、葛飾区の後援を得て行なう。今年のテーマは、「食で育む体と心」で、食育行事をメイン企画とする。



前夜祭は、学生の要望の強かった一般住民の方々の参加が実現し、全学栄養士養成施設協会後援による食

育イベント「食育特別講演会」を、東京農業大学教授小泉武夫氏をお招きし開催する。詳細は、後日、本学学友会ウェブサイトに掲載しますので、奮ってご参加ください。

また、新企画として日本フードスペシャリスト協会の共催により食育イベント「高校生おもしろランチコンテスト」を行なう。高校生のみならずチーム（四人一組）による応募を受付し、当日実習し入賞者を決定する。後援会では前夜祭・本祭とも多くの方々のご来校をお待ちしています。

● 地域活動



五月十八日葛飾区総合スポーツセンターで開催された葛飾区等主催の「わんぱく相撲葛飾区大会」に、本学の学友会と調理実習部が全面協力した。学生の用意した「とん汁」「やき鳥」などは、こども達に大人気で地元に対する東京聖栄大学の知名度アップに繋がった。

東京聖栄大学の 使命に思う

後援会副会長 大嶋 博



まず一月に
中国製冷凍
餃子の毒物

中毒事件があり、毒物学研究で知られる眞木准教授が出演し、テレビのニュース番組や新聞でコメントされるなど食品関係の大学としてクローズアップされた年でした。食品の安全性、油など食材料の高騰による品不足を補うべく自給率向上など、食糧問題は今や国内外の注目を集めています。また食育は、子どもの家庭での食生活や栄養、学力も改善できるなどその可能性は限りなく広がっています。メタボ対策も健康維持のための関心事です。そのような、時代の最先端の課題を研究・勉強でき

る本大学の環境にいる学生達はタイムリーに恵まれていると思います。

長男も、大学でフィールド研修や海外研修、インターンシップでの農業体験等、数々の実地体験を積ませていただき貴重な経験と出逢いが出来たようです。大学も開学して四年目に入り、ようやく一年生から四年生までが揃い草創期でもあるこの時期から、管理栄養士や食品衛生管理者、企業での専門家など今の食生活に欠かせない重要な人材を陸続と社会に輩出していく使命があると思います。これからも学長・理事長を中心に、教職員、学生、保護者が一体となつて学生のための大学建設のために貢献していきたいものです。私も一助になりたいと思います。結びに建学の精神を身につける有意義な学生生活を送ってほしいと願っています。

管理栄養学科担任紹介

一年担任 岡田 弘准教授



一年副担任 植松 節子講師



二年担任 飯樋 洋二准教授



二年副担任 長須 正明講師



三年担任 柳瀬 昌弘教授



三年副担任 伊澤 正利講師



四年担任 渡邊 悟教授



四年副担任 富吉 靖子講師



食品学科担任紹介

一年担任 井筒 雅教授



一年副担任 丸井 正樹准教授



二年担任 前田 宜昭准教授



二年副担任 眞木 俊夫准教授



三年担任 松本 信二教授



三年副担任 荒木 裕子講師



四年担任 品川 弘子教授



編集後記

後援会会報は、大学の完成年度を迎え、今年度から年二回の発行を予定しています。次回(第四十五号)は、来年三月の発行予定です。

入試関係ニュース

受験相談会

- 10月18日(土)
- 11月8日(土) ※
- 11月9日(日) ※
- 12月6日(土)

■開催時間
各回とも13:00-16:00
要予約

- 主な内容
- ・平成21年度入試概要説明
 - ・個別受験相談
 - ・キャンパス見学
 - ・在学生と話そう 他
- ※11月8日、9日は聖栄葛飾祭(大学祭)受験相談コーナーとして実施。

〈お問い合わせ先〉

学生支援センター
入試相談室
〒124-8530
東京都葛飾区西新小岩
1-4-6
TEL. 03-3692-0211(代)
03-3692-0238
(入試相談室直通)